

新潟県埋蔵文化財センター

常設展示室リニューアルオープン!!



新潟県埋蔵文化財センター常設展示室が、4月29日にリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは、最新の発掘調査成果を展示品に加え、旧石器時代から江戸時代に至る新潟の歴史を紹介しています。

特に、展示品を充実させたのは縄文時代です。「縄文人の暮らし」をテーマに、土器や石器などの道具のほか、住まいやアクセサリ、食料、さらに祈りの道具など、縄文人の暮らしを具体的にイメージできる出土品を多数展示しています。



展示品を一新して詳しい解説を加えた展示室



展示室中央の「縄文人の暮らし」コーナー

また、「新潟の宝！」のコーナーでは、県指定有形文化財を中心に、注目の遺跡の出土品を展示しているほか、展示室の出入口には、普段ガラス越しでしか見ることのできない土器や石器を、直接手に取ることができるコーナーを新設しました。

新潟の歴史がぎゅっと詰まった常設展示室へ、皆様ぜひお出かけください。

新潟県埋蔵文化財センターから歩いて5～10分の距離には、新潟市弥生の丘展示館や、国史跡の古津八幡山遺跡（弥生時代）・



本物の出土品に直接触ってみよう!

古津八幡山古墳（古墳時代）があります。これらの施設や史跡を巡り、縄文時代から古墳時代へタイムスリップしてみたいはいかがでしょうか？



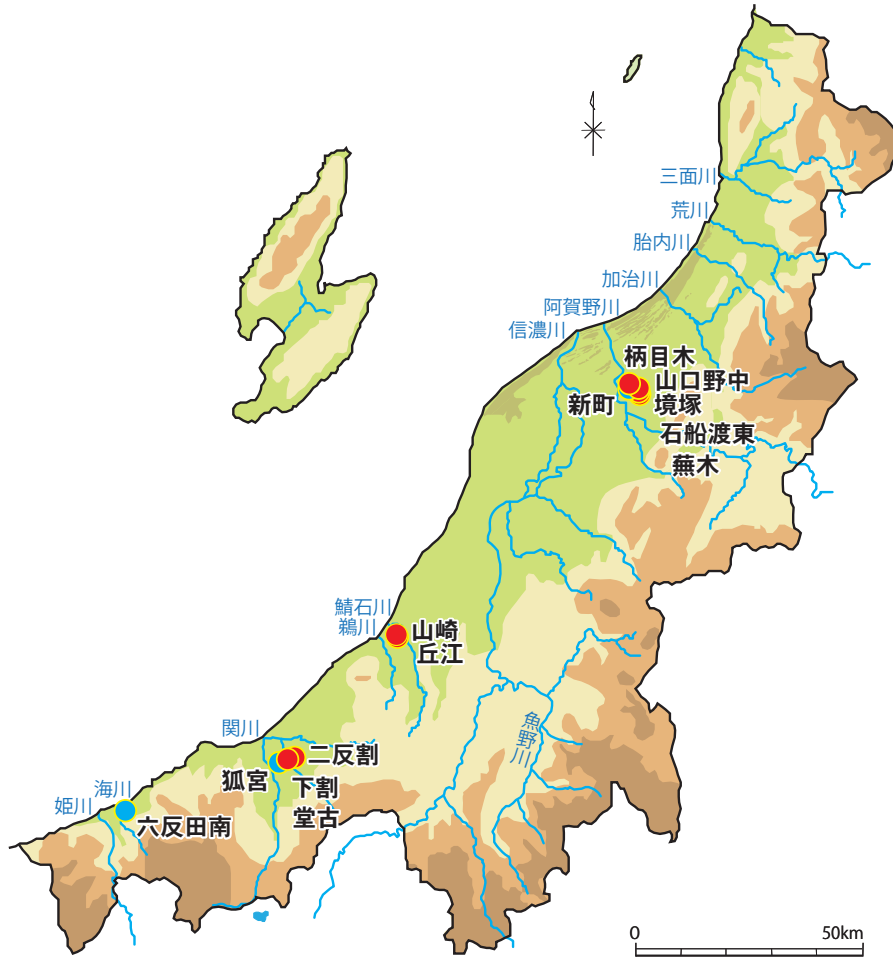
【開館時間】9：00～17：00 【入館料】無料

【休館日】年末年始（12月29日～1月3日）

※展示室は土曜・日曜・国民の祝日も公開しています。



平成27年度 本発掘調査遺跡・整理作業遺跡一覧



本発掘調査

遺跡名	事業名	所在地	調査期間	主な時代
さかいづか 境塚遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	4～11月	縄文・中世
やまぐちのなか 山口野中遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	4～7月	中世
がらめき 柄目木遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	10～12月	古代・中世
いしふなとひがし 石船渡東遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	4～12月	縄文・中世
かぶき 蕪木遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	9～11月	古代・中世
やまざき 山崎遺跡	国道8号柏崎バイパス	柏崎市	4～11月	中世
おかえ 丘江遺跡	国道8号柏崎バイパス	柏崎市	4～12月	中世
しもわり 下割遺跡	国道253号上越三和道路	上越市	4～8月	古代・中世
どうこ 堂古遺跡	国道253号上越三和道路	上越市	4～8月	古代・中世
にたんわり 二反割遺跡	国道253号上越三和道路	上越市	9～11月	古墳・古代・中世

整理作業

遺跡名	所在地	主な時代
しんまち 新町遺跡	阿賀野市	中世
きつのみや 狐宮遺跡	上越市	古代
ろくたんだみなみ 六反田南遺跡	糸魚川市	縄文～中世

平成27年度発掘調査遺跡の紹介

山口野中の遺跡

(阿賀野市月崎地内)

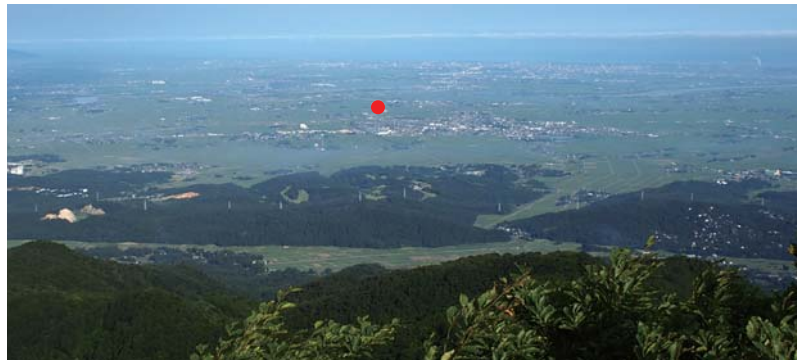
山口野中遺跡は、標高6.4～6.8mの阿賀野川右岸の自然堤防上に立地しています。国道49号阿賀野バイパスの建設工事に伴い、平成24年度に発掘調査を開始し、今年度は、JR羽越本線脇の約1,500㎡を調査しています。

調査区の表土を重機ではぎ取ると、羽越本線と平行して新津方面と水原方面へまっすぐに伸びる砂利敷きの道路跡が見つかりました。地元の方によると、昭和30年代まで使われていた道路らしいのですが、その砂利を除去すると、より古い時期の、側溝を伴う幅4mほどの道路跡が姿を現しました（左下写真）。江戸時代に作られた地図には、月崎集落を通過して水原方面に向かう道路が描かれたものがあり、今回検出した道路跡と関連する可能性もあります。今後、出土した遺物の検討などによって道路が造られた時期を明らかにしていきたいと考えています。

中世の遺構は、これまでの調査区と同様、掘立柱建物や井戸、溝の跡などがみつかっています。集落が営まれた時期の中心は、鎌倉時代の終わりから室町時代の初め頃（今から約700年前）とみられます。特徴的な遺物としては、菊の花や簾のような文様のスタンプが押された陶器の甕の破片があります（右下写真）。このスタンプは、遺跡から6kmほど離れた五頭山麓の窯で使われたものであることが分かっています。五頭山麓の窯で焼かれた陶器は、阿賀野市域を中心として主に下越地方に流通しており、ご当地ならではの出土品といえます。

中世の調査が終了すると、さらに地中深くに眠っている縄文時代の調査へと進んでいくことになります。

(小野本 敦)



五頭山から阿賀野市内を望む(赤丸が遺跡)



発掘調査の様子



近世の道路跡(南西から、奥が水原方面)



スタンプが押された陶器片(原寸大)

出前授業を行っています

新潟県埋蔵文化財センターは、学校と連携した校外学習活動を受け入れているほか、27年度は出前授業も行っています。4月からこれまで6校に出前授業を行いました。職員が土器や石器などの出土品を持って学校に出向き、考古学の授業を行います。縄文時代や弥生時代の生活を映像やパネルなどで説明した後、本物の縄文土器を持って重さや器に付いた当時のおこげなどを観察します。子供たちが土器を持つときの緊張した面持ちが新鮮です。火起こしや勾玉作りなどの体験学習も、道具を持って訪問しています。

出前授業は校外へ移動する必要がないため、センターから離れた場所にある学校でも出土品に接することができる点が魅力です。

県埋蔵文化財センターの学習支援は事前申し込みが必要です。御利用に関するお問い合わせや御相談は、お電話でお願いします。

お申し込みは
電話：0250-25-3981



縄文時代の磨製石斧を持ってみます



縄文土器の重さはどれくらい？

平成27年度企画展「^{だいぶ}谷底からよみがえった大武遺跡」を開催します

新潟県教育委員会が発掘調査した^{ながおか}長岡市（^{わしま}旧和島村 ^{だいぶ}大武遺跡）の出土品を遺跡の写真とともに展示します。大武遺跡には深さ約6mの谷があり、ここに縄文時代から中世にいたる人々の残した遺構、土器や石器などの遺物が大量に埋まっていました。これらの遺構・遺物をとおして、人々の暮らしの変化を概観します。



弥生～古墳時代の玉類

企画展

会 期：平成27年7月18日（土）～平成28年1月24日（日）
（年末年始（12月29日～1月3日）は休館）

会 場：新潟県埋蔵文化財センター（新潟市秋葉区金津93番地1）

開館時間 9：00～17：00 入館・観覧料：無 料

企画展と関連する展示解説会や講演会を下記のように実施します。是非、ご参加ください。

展示解説会・体験コーナー

参加費無料!

回	期 日	解 説 会	体 験 コ ー ナ ー	
			時 間	内 容（予定）
1	7月18日（土）	10:30～11:30	10:00～12:00	樹皮工作（先着40個）
2	9月13日（日）			樹皮工作（先着40個）
3	10月17日（土）	14:00～15:00	13:00～15:30	勾玉作り（先着40個）
4	11月29日（日）			木筒風グリーティングカード作り（先着40個）

※定員なし。申込み不要。

■ **講演会** 新潟県教育庁文化行政課主催の講演会と共通の「まいぶんスタンプラリー」対象イベントです。

回	日程	タイトル・講師	定員	受付
1	7月26日(日) 13:00~15:00	「谷底からよみがえった大武遺跡」春日真実(新潟県埋蔵文化財調査事業団)	80名	~7/24
2	8月23日(日) 13:00~15:00	「越後平野の成り立ちと大武遺跡」鴨井幸彦氏(株)村尾技建	80名	~8/21
3	9月27日(日) 13:00~15:00	「大武遺跡の縄文時代」寺崎裕助氏(新潟県考古学会 会長)	80名	~9/25
4	11月1日(日) 13:00~15:00	「稲作農耕文化の波及と地域性」笹澤正史氏(株)吉田建設	80名	9/1~10/30
5	11月22日(日) 13:00~15:00	「大量のヒスイと玉作り」田海義正(新潟県埋蔵文化財調査事業団)	80名	9/1~11/20
6	12月20日(日) 13:00~15:00	「大武遺跡の古墳時代」滝沢規朗氏(新潟県教育庁文化行政課)	80名	9/1~12/18

申込方法 (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団に電話・ファックス・メールのいずれかで、名前・住所・電話番号・聴講希望日を添えてお申込みください。受け付けは先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。
 ■電話:0250-25-3981 ■FAX:0250-25-3986 ■メール:niigata@maibun.net



まいぶんちゃん

県内の埋蔵文化財関係イベントを集約したパンフレット「新潟まいぶんナビ」が年2回発行されます。詳しくは新潟県教育庁文化行政課ホームページをご覧ください。

【『新潟まいぶんナビ』お問い合わせ先】

新潟県文化行政課埋蔵文化財係

電話：025-280-5620

<http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/>

■ **「親子考古学教室」** (平成27年8月8・10・16日 10:00~15:00(予定))

夏休みに親子で考古学を学ぶ講座です。埋蔵文化財センターの見学と、マイギリ法の火起こし、滑石製の勾玉作り、オープン陶土を使った土器作りの体験を行います。

(各回で体験内容が異なります。事前に申込みが必要です。)

「親子考古学教室」

【申込み先】 申込期間：7月13~26日

(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

電話：0250-25-3981 FAX：0250-25-3986

メール：niigata@maibun.net



■ **「まいぶん祭り」** (平成27年9月19日(土) 9:00~16:00)

子どもから大人まで、古代の道具にふれることのできる体験イベントです。勾玉作りや火起こしのほか、本物の土器に触る体験コーナーや土器パズルなどがあります。当日は県立植物園、新潟市秋葉区産業振興課、新潟市弥生の丘展示館でもイベントを開催する予定です。(申込みは不要です。)



第20回遺跡発掘調査報告会 (スタンプラリー対象講演会)

入場・観覧無料

平成25・26年度に県が調査した遺跡の報告会です。出土品の展示とあわせて映像を用いた解説も行います。新潟の歴史についての理解を深めていただく報告会です。(申込みは不要です。)

・日 時／平成27年9月6日(日) ・会 場／柏崎市文化会館アルフォーレ(柏崎市日石町4-32)

・時 間／出土品展…9:00~16:00 報告会…10:30~15:05(予定)

県内の遺跡・遺物89

ふる つ はち まん やま ふる つ はち まん やま
古津八幡山遺跡 古津八幡山古墳
 (平成17年7月国指定、平成23年2月追加指定)

(遺跡所在地：新潟市秋葉区古津字八幡腰ほか)

古津八幡山遺跡・古津八幡山古墳は、越後平野の東縁、信濃川の右岸に沿って延びる新津丘陵の先端近くに立地します。眼下には越後平野が広がり、遠く弥彦山・角田山を望むことができます。標高は約50mで、平野部との比高は約46mです。

南北400m、東西150mの範囲から、環濠・堅穴住居・土坑・方形周溝墓・前方後方形周溝墓が見つかりました。環濠は断続的ですが二重に配置され、深さは約2mです。堅穴住居は大部分が環濠内部や条溝で区画された丘陵頂部にあり、内環濠に囲まれた丘陵最頂部には前方後方形周溝墓があります。方形周溝墓は環濠の外側に位置し、埋葬主体部から鹿角装鉄剣やアメリカ式石鏃が出土しました。出土した土器は北陸系・東北系とともに両者折衷の3系統が共存しており、北陸地方、東北会津地方とつながりを持っていたことがわかります。

弥生時代後期、高地性環濠集落が日本海側にも点々と認められるようになります。本遺跡で見つかった北陸系高地性環濠集落は、西日本を中心とした社会変化の影響がこの地域にも及んでいたことを示しています。

古津八幡山古墳は、2段築成の円墳です。直径は約60mで、新潟県内では最大級です。近年の史跡整備に伴う確認調査では、後世の削平のため埋葬施設は見つかりませんでした。古墳の築造方法が明らかになりました。その工法は基本的には畿内の築造方法と共通しています。墳丘の構築には畿内の技術者が関わった可能性があり、畿内政権との深い関係がうかがえます。古墳の時期を明確に示す遺物は出土していませんが、周溝の底から出土した鉢の形態や調整、古墳の築造方法などから、古墳時代前期後半～中期前半(約1,600年前頃)に位置づけられる可能性が高いと考えられます。

遺跡は弥生時代後期から古墳時代にかけての北陸地方の社会情勢やその変遷を考えるうえで重要とされ、国の史跡に指定されました。

平成26年度に復元整備工事が完了し、平成27年4月17日から全面公開されています。

参考資料：『八幡山遺跡群発掘調査報告書—第11・12・13・14次調査—』[新潟市教育委員会2004]、『古津八幡山遺跡 保存整備事業報告書』[新潟市教育委員会2013]、『シンポジウム 古津八幡山古墳を考える』[新潟市教育委員会2013]ほか

写真提供：新潟市教育委員会



遺跡を北東上空から臨む(左：古津八幡山遺跡 右：古津八幡山古墳)

埋文にいがた No.91

発行 (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1
 TEL (0250) 25-3981
 FAX (0250) 25-3986
 E-mail: niigata@maibun.net
 URL: http://www.maibun.net
 印刷 阿部印刷株式会社